

平成20年度

決算の概況

市民の皆さんが納めた税金や国・県からの補助金は、市民生活のためにさまざまな形で使われています。決算は、それらのお金が、皆さんの暮らしやまちづくりにとどのように生かされたかをまとめたものです。

一般会計

平成20年度の一般会計決算額は、歳入が163億1,820万円、歳出が157億2,611万円、当年度における「歳入歳出差引額」は5億9,209万円となりました。

この差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた「実質収支」は4億5,625万円となりました。

【歳入】

全体では前年度に比べて2億9,477万円(1.8%)増となりました。市税、交付税等の微増、県支出金の減、繰入金金の増、市債などの減、特に国庫支出金は、再編交付金、定額給付金や地域活性化交付金などの増によります。

【歳出】

全体では、前年度に比べ1億4,518万円(0.9%)の増となりました。厳しい財政状況のなか、限られた財源の重点的配分を行うとともに、経費の一層の削減など財政の健全化に努めながら、市民の皆さんが安心していきいきと暮らせるまちづくりのため、保健・医療・福祉、教育・文化、産業、生活環境、社会基盤の各分野について種々の施策を推進してきました。平成20年度は、新たに、合併特例債を活用した合併振興基金5億円を積立しました。

特別会計・企業会計

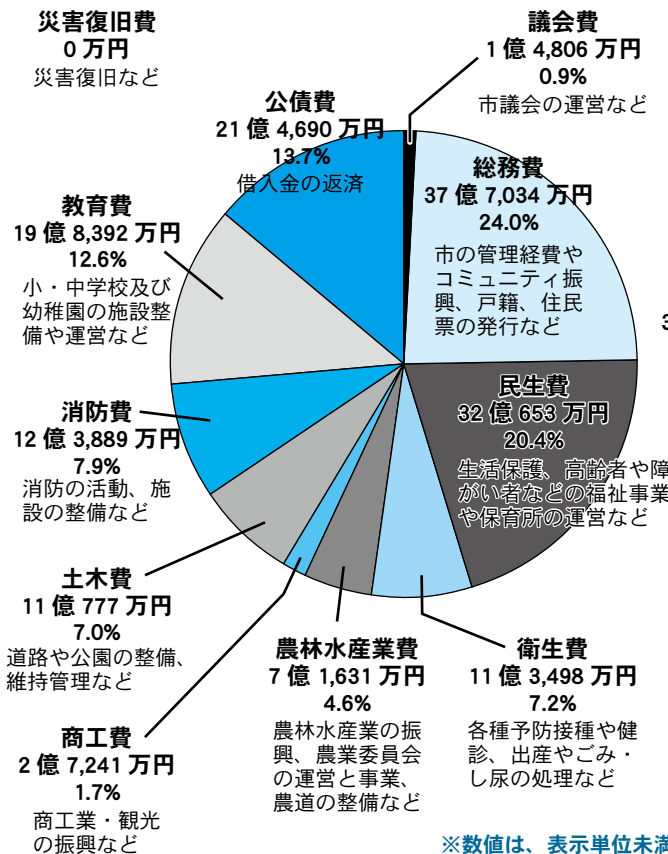
一般会計のほかに、特定の事業を行うための7つの「特別会計」と、地方公営企業法を適用している「水道事業会計」があります。

「特別会計」と「水道事業会計」の収益的収支を併せた決算額は、歳入総額105億1,183万円、歳出総額101億2,871万円、差引額3億8,312万円となりました。

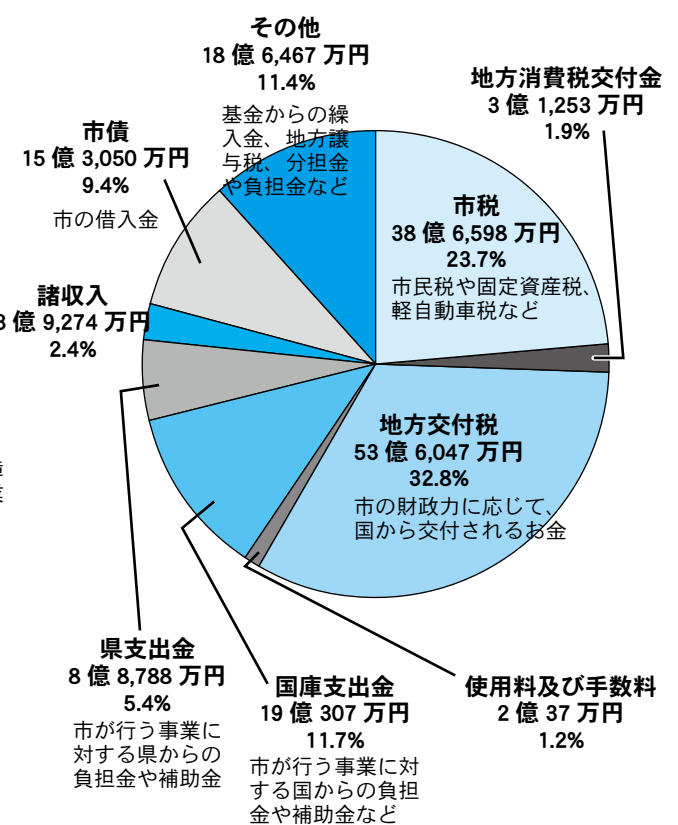
【問合せ】

財政課(麻生庁舎)
☎0299(72)0811

一般会計歳出 157億2,611万円



一般会計歳入 163億1,821万円



※数値は、表示単位未満を四捨五入しています。

特別会計・企業会計決算額

会計区分	歳入決算額 主な項目	歳出決算額 主な項目	歳入歳出差引残金
国民健康保険	52億843万円 国民健康保険税、国庫支出金、共同事業交付金、前期高齢者交付金など	49億7,847万円 保険給付金、前期高齢者納付金、共同事業拠出金、介護納付金など	2億2,996万円
老人保健	3億9,117万円 支払基金交付金、国庫支出金、県支出金、繰入金など	3億7,328万円 医療諸費、前年度繰上充入金など	1,789万円
介護保険	26億7,389万円 保険料、支払基金交付金、国庫支出金、県支出金など	26億776万円 保険給付費、総務費、地域支援事業費、基金積立金など	6,612万円
後期高齢者医療	2億6,394万円 保険料、繰入金など	2億6,383万円 広域連合会納付金	12万円
農業集落排水事業	3億8,302万円 市債、国庫支出金、県支出金、使用料及び手数料など	3億5,039万円 事業費、公債費、総務費	3,264万円
特定環境保全公共下水道事業	2億9,337万円 繰入金、使用料及び手数料、市債、国庫支出金など	2億8,331万円 公債費、事業費、総務費など	1,007万円
流域関連公共下水道事業	4億8,232万円 繰入金、市債、使用料及び手数料、国庫支出金など	4億6,901万円 公債費、下水道費、維持費、総務費	1,331万円

※数値は、表示単位未満を四捨五入しています。

水道事業会計

企業会計である水道事業は、給水などの営業面からみた収支を「収益的収支」、設備など所有財産の面からみた収支を「資本的収支」としています。

区分	歳入	歳出	差引額
収益的収支	8億1,569万円	8億268万円	1,301万円
資本的収支	1,372万円	5億5,923万円	△5億4,551万円

※数値は、表示単位未満を四捨五入しています。